

令和三年度 群馬県立女子大学

入学式 学長式辞

この錦野の地に春のうららかな日差しが注ぎ、新たな一步を踏み出す皆さんを祝福する季節となりました。北は北海道から、南は鹿児島から、日本全国各地から、学部学生 214 名、大学院生 5 名、合計 219 名の皆さんがこの群馬県立女子大学に入学いたしました。本学を目指して受験勉強に取り組み、本日ここに、晴れて入学式を迎えられた皆さんに、群馬県立女子大学の教職員を代表して、お祝いを申し上げます。誠にありがとうございます！

また、公務ご多用にもかかわらずご臨席賜りました群馬県知事、山本一太様をはじめ、ご来賓の皆さま方には、群馬県立女子大学を代表して厚く御礼申し上げます。

新入生の皆さんを暖かい愛情を持って支え、この晴れの日を心待ちにいらしたご家族や関係者の皆様方にも直接お祝いを申し上げたいところでございますが、新型コロナウイルス感染防止のため、入構をお控えいただくことになりました。申し訳なく思っております。

本学は本県の地域社会における文化の進展に寄与し、そして次代を担う女性の育成を目的に昭和五五年、一九八十年四月に開学いたしました。新型コロナウイルス感染症の社会的影響のため、昨年は入学式を開催できず、その時の新入生の皆さんにはたいへん申し訳ないことになりました。本年は無事に入学式の日を迎えることができ、たいへん嬉しく思っております。本日の新入生の皆さんにとっても、この大学生活の始まりは長く記憶に残ることでしょう。そして、この入学式直後からオリエンテーションがあり、九日（金）からは対面での授業が開始されます。“新型コロナウイルス感染症に感染しない、感染させない”ことを第一に学生生活を送ってください。

本日から新たな大学生活が始まります。様々な期待を抱いきながら、同時に、不安もあると思います。大学 4 年間、大学院 2 年間は瞬く間に過ぎ、その先には AI が社会的基盤となり、デジタルトランスフォーメーションが社会の在り方をも変革させる世界が、そして様々な分野において女性の活躍が求められる社会が皆さんを待ち受けています。この時代に大学で学ぶ意義とは何でしょうか？

大学においてそれぞれの分野の専門知識を得ることはもちろん重要なことですが、社会において不可欠となる「正解のない問題に取組み、自ら情報を収集し、取捨選択し、考え、判断する確かな知性」と、「様々な背景を持つ人々と共に働き、生活するために必要なしなやかな感性」を身につけることが大学で学ぶ意義だと私は思っています。この確かな知性としなやかな感性の基礎は、学内での学びの過程において身に付くことであり、大学での学びだからこそ修得できることなのです。

この確かな知性としなやかな感性は、社会において何かに依存せず自分らしく、しかも周囲と調和しながら満ち足りた人生を送るためにも不可欠なものです。では、この知性と感性の基礎だけではなくしっかりと身につけるためには、これからの大学生活をどのように過ごしたらよいのでしょうか。

大学生活で実行してほしいことが三点あります。第一に、本学に入学してきた今だから

こそ、大学での「学び」の目標を見つけてください。例えば、それぞれの学科・学部での専門的な学びをより深く追求することを目標にしても良いでしょう。または、「外国人の方々に日本語を教える『日本語教員養成プログラム』を修了して卒業すること」を目標にする学生もいると思います。ちなみに、本学では、どの学部、学科の学生でもこの「日本語教員養成プログラム」を受講することができます。オリエンが今日の午後から始まり、各学科や学部、センターなどの学びの説明がありますので、しっかりと聞き、自分なりの学びの目標を見つけるヒントにしてください。

そして、第二点目はこの「学び」の目標に向かって進みながらも、必ず社会とのつながりを持たせてください。例えば、日本語教員養成プログラムを目標としたら、玉村町国際交流協会が開催している日本語教室で日本語を実際に教えるなどに様々なことに挑戦してください。学内で得た知識を学外での活動に生かすことで、知識を物事を判断するための知恵にも変換させることができます。この知恵は、様々な背景を持つ人々との協働を可能にし、価値観の衝突や異文化間の戸惑いにも適切に対処するヒントを与えてくれるでしょう。

目標に向かい進んでいても、途中で困難に直面し、挫折することもあります。周囲の意見に合わせるのではなく、周囲の意見を取り入れながらも自分なりに考え、決定した目標のもとに進んでいけば、たとえ失敗や挫折したとしても、それが皆さんの糧となります。そして立ち上がり、方向転換しながら前に進む力となり、その積み重ねが満ち足りた人生を送るための階段となっていくのです。学生時代に実行してほしい最後の一点は、このように失敗を恐れず、様々なことに挑戦することです。自ら考え、行動し、挑戦しようとする皆さんに本学は惜しみない支援をいたします。

これから皆さんはそれぞれの目的に向かって、大学での勉学を開始することになります。大学生活4年間、大学院生活二年間というのは、過ぎてみればあっという間です。目標を立て、社会とのつながりを大切に、様々なことに挑戦しながら、この学生時代を過ごしてください。

むすびに、本日、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様方、新入生の皆さんを今後共あたたく見守って頂きますように、また、本学へも引き続きご支援ご理解を賜りますように、お願い申し上げます。

本日、群馬県立女子大学に入学された皆さんに、今一度心からのお祝いを申し上げ、式辞といたします。

令和3年4月5日

群馬県立女子大学 学長 小林良江